

医薬事業 臨床開発品目 (2010年4月28日現在)

開発名	開発段階	主な適応症	作用機序	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内: Phase2	脂質異常症	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白: 善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白: 悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-130 (経口)	国内: Phase2 海外: Phase2	脂質異常症	MTP (ミクロソームトリグリセリド転送蛋白) 阻害	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内: Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-302 (経口)	海外: Phase2	脂質異常症	CETP (コレステリルエステル転送蛋白) 阻害	HDL (高密度リポ蛋白: 善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白: 悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内: Phase2	骨粗鬆症	CaSR (カルシウム感知受容体) 拮抗	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内: Phase1	鎮痛、過活動膀胱	TRPV1 (パノロイド受容体1) 阻害	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内: Phase1 海外: Phase2	2型糖尿病	HSD-1 (11βヒドロキシステロイド脱水素酵素) 阻害	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外: Phase1	HIV感染症	インテグラーゼ阻害	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内: Phase2	高リン血症	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出 (島居薬品と共同開発)
JTK-853 (経口)	海外: Phase1	C型肝炎	HCV RNA ポリメラーゼ阻害	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	

前回 (2010年2月9日) 公表時からの変更点: なし

【付記事項】

英国グラクソ・スミスクライン社は、2006年4月18日に当社が同社へ全世界での開発・商業化権を導出したMEK阻害剤が、Phase1からPhase2へ移行したことを2010年3月に公表